

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成29年1月12日 (2017.1.12)

【公開番号】特開2016-1240(P2016-1240A)

【公開日】平成28年1月7日 (2016.1.7)

【年通号数】公開・登録公報2016-001

【出願番号】特願2014-120930(P2014-120930)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/01 (2006.01)

G 0 3 G 15/00 (2006.01)

G 0 3 G 15/08 (2006.01)

H 0 4 N 1/29 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/01 Y

G 0 3 G 15/00 3 0 3

G 0 3 G 15/08 1 1 5

H 0 4 N 1/29 G

【手続補正書】

【提出日】平成28年11月29日 (2016.11.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の潜像担持体と、

複数の潜像担持体にそれぞれ潜像を書き込む潜像書込手段と、

複数の潜像担持体上の潜像をそれぞれ現像する複数の現像手段と、

前記潜像担持体上の現像された可視像を中間転写体上、あるいは記録材上に重ね合わせて転写する転写手段とを有し、

色ずれ検出用のテストパターン像によって色ずれを検出し、その検出結果に基づいて画像形成条件を調整することで、色ずれの補正を行う画像形成装置において、

スキューずれの補正を行う色ずれ補正制御とスキューずれの補正を行わない色ずれ補正制御との補正動作を制御する制御手段と、スキューずれの補正を行わない色ずれ補正制御の実行によって算出されたスキューずれ量を記憶する記憶手段とを備え、前記記憶手段に記憶されたスキューずれ量が規定の閾値以上になったときには、前記制御手段がスキューずれの補正を行う色ずれ補正制御を実行するようにしたことを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の画像形成装置において、

印刷ジョブ中に実行する色ずれ補正制御の実行中に算出したスキューずれ量が規定の閾値以上であると判断された場合には、前記制御手段が、実行中の印刷ジョブの終了後に、スキューずれの補正を行う色ずれ補正制御を実行するようにしたことを特徴とする画像形成装置。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の画像形成装置において、

印刷ジョブの開始と停止を指示する印刷ジョブ制御部を備え、

印刷ジョブ中に実行する色ずれ補正制御の実行中に算出したスキューずれ量が規定の閾値

以上で、かつ、実行中の印刷ジョブにおいて画像形成する必要のある記録材の残枚数が規定の閾値以上であると判断された場合には、前記制御手段が、印刷ジョブ制御部に実行中の印刷ジョブを中断するように指示して、スキューずれの補正を行う色ずれ補正制御を実行するようにし、スキューずれの補正を行う色ずれ補正制御の実行が終了した後、前記制御手段が、前記印刷ジョブ制御部に印刷ジョブの再開を指示するようにしたことを特徴とする画像形成装置。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 のいずれか一の画像形成装置において、  
検出されたスキューずれに応じてスキューずれの補正が行われるように、前記制御手段がそれぞれの前記潜像書込手段に指令を送出し、これらの指令に基づいて、各潜像書込手段が走査線調整を行うための駆動源の制御を行うようにしたことを特徴とする画像形成装置。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 のいずれか一の画像形成装置において、  
印刷ジョブ中に実行する色ずれ補正制御の実行中に算出したスキューずれ量に基づいて、装置アイドル中に実行する色ずれ補正制御モードを実行する必要があるかどうかの判断をする際に必要となる閾値は、前記記憶手段における、ある特殊な操作を実行することで外部からアクセスしてその値を変更することが可能な領域に格納するようにしたことを特徴とする画像形成装置。